

— 芸術を誰もが楽しめるもの —

広報いばらき（平成 27 年 10 月号）特集・文化芸術の秋の中で、美術協会が他の文化芸術関係の連盟や協会と共に、大きく取り上げられました。

既に読まれた会員の方々から、この記事について、いくつかご意見をいただいております。その記事は、次のようなものです。

美術協会 — 芸術を誰もが楽しめるもの —

美術協会は、日本画をはじめ 8 部門からなり、240 人の会員が所属している。

美術は、高尚でとっつきにくいもののようなイメージがあるが、決して限られた一部の人のためのものではない。誰でもこの世界に入ることができる。

ものを作るのは楽しい。それを発表できればもっと夢になれる。この楽しさを、多くの人と一緒に味わいたいと思っている。

そこで今年から、会員と市民の皆さんと一緒に美術を楽しめる場を作れるよう、新しい取り組みを始めた。まず市民活動センターへの団体登録。10 月から会員が講師を務めて市民向けに各種講座を開催する予定〔10 月 18 日デジカメやスマートフォンで写真を上手に撮る、ちょっとしたコツをプロが指導（茨木美術協会員）が開催された〕。また、協会のホームページをリニューアルし、市内のギャラリーの展示スケジュール情報を充実させる。ギャラリーでは、会員の作品が見られる。さらに、年 2 回発行している会報を、従来の会員向けの内容ではなく、市民が読んで楽しい芸術情報誌に変えるべく、試行錯誤を重ねている。

芸術の楽しみ方は、人それぞれ。数学のように答えはひとつではないし、むしろ何らかの答えにたどり着くまでの道のりそのものが、美術だと思っている。さまざまな美術作品に、たくさんふれていただきたい。それぞれの作者の答えまでの道のりを、作品から感じ取ってほしい。というものです。

これは私がインタビューに答えたもので、会員の松木美子さんのアトリエ、馬渡喜穂さんの工房、北井勲さんの個展の様子が市展入賞者のインタビューなども掲載されました。ご存知の通り、美術協会は非営利団体です。すべての会員は、ボランティアで活動しています。

でも実際にはいろいろな費用がかかります。会員の作品による展示販売、会報への広告掲載など担当者間で意見を交わしていますが、良い案がありましたら、ご意見をお寄せください。

茨木市を今より以上に元気にするため、芸術の面から協力したいと思っています。会員の皆さんの芸術活動から得た知識や経験を、そして多様性や独自性、そのいろいろな視点を社会に還元し、生かしたいと考えています。

よろしくご協力のほど、お願いします。

茨木美術協会会長 木村 光佑

■ 美術協会・事務局移転（活動拠点移動について）

このたび、茨木美術協会の新しい拠点となる事務局を茨木市市民会館から、北へ 5 分の茨木市民総合センター（クリエイトセンター）に移転致しました。（市民会館が平成 27 年 12 月 15 日以降の休所に伴い）駐車場は市民総合センター地下駐車場（有料）をご利用ください。

移転先：茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）
1 階・2 階・茨木市市民活動センター

住 所：〒567-0888 茨木市駅前 4 丁目 6-16

開 所：平成 28 年 1 月 5 日より

市民活動センター内にメールボックス、ロッカーを設置しています。ミーティングや待合せに利用できる無料の交流サロン・印刷機・コピー・裁断機・紙折り機を安く利用することができます。また会議室も安く借りることができます。

- ・ご利用ご希望の方は事務局の鳥居までご連絡ください。
- ・茨木美術協会 事務局への連絡は鳥居史郎（写真部）携帯までご連絡下さい。

090-8989-9294

■ 茨木美術協会のロゴが生まれました！

美術協会の改革に伴い、ホームページや広報、各種展示会の DM カードなどに使ってもらえるロゴマークを新たに制作いたしました。又、美術協会の名刺も準備（希望者対応）していますので御利用下さい。

このロゴマークは 12 月 20 日 常任理事会にて確認、承認されています。

デザインは梶原雅彦氏（デザイン部）によるものです。



茨木美術協会

 茨木美術協会

金赤色の正方形を茨木美術協会（IAA）のアルファベットで抜き、絵画を表現しました。

金赤 きんあか bronze red	CMYK	(0, 90, 100, 0)
	RGB	(239, 65, 35) #EF4123
	HSV	(9°, 85%, 94%)
	マンセル値	9R 5.5/14